

製薬企業のオープンイノベーションの取り組み

(第一三共株式会社・研究開発本部 研究統括部¹, バイオロジクス本部 モダリティー研究所²) 藤澤 道雄¹・金澤 佳人²・遠藤 淳²

Open Innovation Activities in Pharmaceutical Industries

(¹Reserch Function, R&D Division, Daiichi Sankyo Co., Ltd., ²Biologics Function, Biologics Division, Daiichi Sankyo Co., Ltd.) Michio Fujisawa,¹ Yoshito Kanazawa,² Atsushi Endo²

Open innovation play an enormous role in research and development strategies in pharmaceutical industries by introducing the latest science and technologies from outside the company. TaNeDS, a domestic open innovation program of Daiichi Sankyo has been carried out every year since FY2011 and the purposes of the program are scouting promising research themes and constructing a network with academic researchers based on Daiichi Sankyo's needs. As the results, lots of collaborative research have been initiated with researchers not only in biology/medical fields but also in drug discovery technology fields. Similar competition programs have been carried out by several pharmaceutical companies and they have contributed the promotion of industry-academia partnership so far. It is considered necessary to deepen such programs in order to further accelerate the partnership for generation of innovative drugs.

Keywords : *Open Innovation; Industry-academia partnership; TaNeDS;*

製薬企業においてオープンイノベーションの活動は、社外から最新の科学や技術を導入し、自社の強みを強化し弱みを補うための戦略として非常に大きな役割を担っている。製薬各社は様々な活動に取り組んでおり、その目的は多様である。例えば、近年注目されている医薬品のモダリティーに関して、かつての生活習慣病を適応とした低分子医薬品から、中分子医薬品、またはバイオロジクス医薬品の研究開発へのドラスティックな変化に対応するには、社外からの技術導入・提携が必須である。

本講演では創薬の初期研究ステージにおけるオープンイノベーション活動として、第一三共株式会社が実施している国内ライフサイエンス系研究者を対象とした研究公募プログラム：TaNeDS（タネデス）について紹介する。TaNeDSは2011年度から毎年実施され、創薬標的の同定や検証、あるいは創薬プラットフォーム技術の構築などを目的として、数多くのコラボレーションが生まれている。TaNeDSの特徴の一つに、募集する研究領域が多様であることが挙げられる。医学系研究者との疾患に関する研究のみならず、創薬に関係する技術研究を対象として、研究ニーズを開示しマッチする研究を求めている。その結果、これまで様々な分野の研究者とコラボレーションをもとにしたネットワークが構築され、そこから更に副次的に新たなコラボレーションも生まれている。同様のプログラムは幾つもの製薬企業において実施されており、産学連携の推進に大きな役割を果たしているが、今後さらに、産学双方にとってより有用なプログラムとなるよう深化させていく必要がある。